

佃幼稚園 平成26年度

学校評価公表シート（関係者評価）

平成27年3月31日

- ・年度末に関係者評価委員にお集まりいただき、一年を振り返り評価をいただきました。
- ・園長を座長とし、口頭での討議に不慣れな方もいらっしゃる想定し、付箋を用いた「田の字法」で、ご意見を伺いました。
- ・ご意見を頂いた後に園長から、各意見に対し回答ならびに説明を行った。

設問①	「佃幼稚園」について、いいなと思う点や、好きなところは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○園庭が広く、子ども達が元気、のびのびと生活できる。 先生が遊びにとことん付き合ってくれる。○園舎、施設が清潔なのはもちろん園の周りの掃除も先生がしていた。○先生が、きさく、教育熱心、笑顔、こどもの自主性を大事にしている。 担任以外の先生からもちゃんと見てくれている安心感がある。○伝統的な遊び、季節感のある行事がある。○自然に触れる環境や行事が多い。○卒園児に優しい子が多いと思う。心が育っているのだと感じる。○給食もおいしい。
設問②	「佃幼稚園」について、イマイチだなあと思うところ、嫌なところ、改善してほしいところは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○給食に年長児からでも箸を取り入れて欲しい。○パソコンの時間を英語等にしてほしい。○小学校的な椅子と机を用いたことも取り入れて欲しい。○夏休みなどの長期休暇中にもホームクラス（預かり保育）をして欲しい。○参観は保護者が保育参加する形式が多いが、子どもの活動を観る参観を増やしてほしい。○9月も完全給食がいい。 ○バスの通園範囲を徒歩地域に広げて欲しい。○入園式、卒園式が保護者1人のみのところ（スペース的に理解できるが）。○先生の力量の差がつかないように、新任の先生は副担任にして欲しい。
設問③	「佃幼稚園」について、今後、こうはなってほしくないなあと思うことは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○のびのびとした雰囲気はなくさないで欲しい。 （新制度になることで、個性が失われないようにしてほしい）○先生の対応が悪くなる（子ども、保護者双方に対して）。○忙しくなり、先生の笑顔が減ってしまう。○こどもが減るかもしれないが、行事など減らして欲しくない。 雰囲気も変わらないように。○挨拶やマナーなど、これまで通り教えて欲しい。

設問④ 「佃幼稚園」について、将来、こうなっていったらいいなと思うことは？

- ご意見：
- 今と変わらず、のびのびと明るく楽しい園生活を望みます。
 - 家庭環境や金銭的なことに影響されず、保育が受けられるようになって欲しい。
 - 高齢者と触れ合いがあるように、小中学生や赤ちゃんとの触れ合いが増えれば良い経験になると思う。
 - 参観の際、学年の時間が少し重なる事があるが、重ならないようにして欲しい。
 - 運動会は午前まででもいいのではないか。
 - 今迄通り地域に愛される幼稚園であって欲しい。
 - 防災にも今以上に子ども達に働きかけて、災害に備えて欲しい。
 - 隣接する市のグラウンドが幼稚園だったらいいのに。
 - 保護者全員が役員活動に積極的に参加し、みんなで子ども達の生活をサポートし盛り上げれるようになればと思います。

2. 所感 並びに その他

のびのびと遊ぶ中で成長を援助する佃幼稚園の基本姿勢が受け入れられていると実感する意見が多かった。

一方、小学校への進学に向けて、勉強も取り入れて欲しいというニーズもみられた。幼稚園での取り組みを更にご理解をいただくことにつとめ、子供たちを取り巻く環境や地域ニーズを読み取り対応することが必要と感じた。

新制度に移行する事や、少子化に触れ、幼稚園が元気がなくなる、質が低下する事に対する不安がみられ、「現状」に対する良い評価であるとともに、その良い部分を維持するように努めていきたい。

※会議出席者 評価委員： 地域を代表する委員 1名
保護者を代表する委員 6名
進行役： 園長